

「営業能力」

このところ、弊社に「社員さんの営業能力を向上させたい」というご要望が多く寄せられるようになりました。特にこれまで公共工事の設計や施工を主体として実施してこられた企業様からのご依頼が多いです。公共工事の先行きが不透明で、また今後大きく伸びることが予想できないことから、民間工事の受注にシフトしたい。しかし民間営業をしたことがないので勉強をさせたい、というのがこの背景です。

現在、現場では作業員の多能工化が求められていますが、私は施工管理社員が営業能力を持つという多能工化をお奨めしています。T社様では、現場

施工管理社員さんにも、月次の受注金額、営業訪問件数、営業電話件数、挨拶はがき枚数の目標値が決められています。そして、現場に移動する車の中には、空いた時間や現場から帰社する間に営業訪問するために、常にスーツを常備しています。

施工管理技術者が営業をするのは抵抗が大きいでしょうが、一定の営業知識さえ習得すれば、現場のノウハウを知っているという強みを活かして良い営業成績をあげることは可能です。

全社営業で、この厳しい情勢を乗り切りましょう。

(降旗 達生)

金融機関対策

税理士の立場から 3

建設業は、一般に工期が長く、立替払いをすることも日常的で、また、1件ごとの受注金額が大きい上に、種々の専門業者を組織的に使うため工程管理が難しく、工程管理が不適切であれば資金繰りが悪化しやすいという特徴もっています。その結果、借入金に依存する体質が強くなり、金利負担も増加してしまいます。そこで今回は、利息負担の軽減を図るべく金融機関対策について二つご紹介したいと思います。

まず、「格付け」についてですが、銀行が「格付け連動型金利」を設定している場合、企業の格付けが前年よりもランクダウンしているときには、その企業格付けに応じた標準金利を適用するため、金利の引き上げ交渉を受けることがあります。例えばある銀行の格付けに連動して決められる標準金利体系は「正常先」は1.375%~3%代前半、「要注意先」なら5.3%程度と、ひとつ「格付け」が違っただけで、約2%も金利に差をつけています。

「格付け」で最も重要視されるのが決算書の内容です。これが正しく表示されていないために金融機関からの評価を落としているケースがあります。

例えば、家賃収入が「雑収入(営業外収益)」として毎期継続的に入金されている場合、定款を変更し、「不動産の賃貸」などの主たる業務とすることで、「売上高(本業)」の項目に入れて経理します。これだけのことで金融機関からの評価が上がるのです。

次に金利負担の軽減について事例を紹介します。

A社(建設業)は現預金が1億4千万円、借入金が約1億3千万円ありましたが、受取利息と支払利息の差がマイナス2.5%だったため、約325万円も利息を支払っていました。そこで税理士に相談し、現預金と借入金を一旦相殺する、当座の運転資金として約4千万円をメインバンクから借入れる。賞与や消費税、法人税のように季節ごとに発生する資金需要に対応するため、サブバンクに目的別定期積金をする、という計画を立て、その結果翌期は前期に比べて利息の負担がネットで約190万円減少し、また資金繰りも大変楽になりました。

この他にも「経営計画書」を作成したり、「月次決算」体制を確立して信頼できる決算書を作ることで金融機関から有利な条件を引き出しやすくなりますが、これらの対策はその会社の財務内容をよく把握している我々税理士が最も得意とするところであり、ぜひご相談いただきたいところです。

税理士法人 創経 畠中 義雄

お客様の声

今回は
信和建設 株式会社 様

信和建設株式会社 取締役 清水克彦様よりお話を伺いました。

『ISO9001の認証取得のきっかけを教えてください。』

会社としてISO9001の認証取得をしようと2年ほど前から機運はありましたが、なかなか取得(キックオフ)に踏みきれませんでした。その後ISO9001認証登録が工事の入札参加条件に加えられる等の要件もあり、同業他社の取得状況も鑑み、今後の会社運営上認証登録が必要条件であると考へ取得を決断しました。コンサルティングを依頼した最大の理由はチーフコンサルタントの三浦さんが5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に徹底的にこだわっておられることでした。

『ISO9001認証取得をして良かったことはありますか。』

既存の社内ルールが業務フローに沿って明確化されたとともに、責任と権限が確実なものとなり、今までは浸透しなかった作業環境の5Sが実施されて現場も所内も5Sを浸透させることができました。特に現場の5Sが徹底され施主に対する自社のイメージアップとアピールができました。ただし5Sは、整理すればいいというだけではありません。何のためにしているかを深く理解して徹底して、業績をあげるために5Sを行ってほしいと思います。今後、もっと徹底できればロスが減り、利益につながると思います。

『認証取得後も、継続的にコンサルティングを依頼していただきましたが、その理由を教えてください。』

毎月1回の社内会合の中で、システムの改善をしています。外部から客観的に社内を見ていただき課題を伝えてもらうことにより、社内にもっとISOを浸透させようと思っています。今後の社内の改革状況を楽しみにしています。

ISO9001 認定登録日：2003年6月11日
審査機関：KHK
取得期間：約8ヶ月
ISO会議回数：12回

オーファーム ホームページ

<http://homepage1.nifty.com/ofarm/>



ちょっと休憩…。蘭のお花について (オフィスでの蘭の管理方法)

胡蝶蘭は基本的に高温(25度~30度)多湿を好みます。オフィス内では空調をきかせることが多いため、どうしても乾燥気味になります。しかし、日のあたらぬ場所で、あまり水をやるとすぐに根が腐ってしまいます。植え込み材が乾いているのを確かめて、たっぷりと水やりをしてください。又、花が咲いている間は、こまめに花や株に霧吹きをしてやると長く楽しめます。また、休日などの時、室内は夏場はあまりに温度が高く、また冬場は低くなってしまいます。なるべく夏場は外気と温度の差が無い風の通る場所、冬場は暖かい場所においてあげましょう。花が終わったら、基本的にオフィス内での管理は難しいと思います。どなたかお家に持って帰り、花茎を根元から切り、寄せ植えの株を取り出し、一鉢ずつに植え替えてあげましょう。ただし冬場に植え替えると株が痛みますので暖かくなるのを待ってから行きましょう。

(オーファーム 小川澄人様)